



西湖で捕獲したクニマス(上)と  
京都大学に保存されていたクニマス(下)

## 「クニマス生存」を受け 県と市でプロジェクト立ち上げ

～ 12月25日・26日に  
京都大学、西湖を訪問～

田沢湖に生息していた絶滅種クニマスが山梨県の西湖で見つかったことを受け、県と市は、12月17日、今後の方策を検討する「クニマス里帰りプロジェクト」を立ち上げ、21日に県庁で関係職員による初会合を開きました。

この中で、市からは、田沢湖はまだクニマスを放流できる環境になく、水槽を使った展示による里帰りができないか、田沢湖と西湖との友好提携、中坊徹次京都大学教授、東京海洋大学客員准教授「さかなクン」への



京都大学中坊徹次教授が、今回の発見に至る経緯を紹介

市民榮譽賞の授与、県の魚への指定などを提案しています。

また、年末の25日、26日の両日には、門脇市長をはじめ、クニマスや田沢湖の再生に関わってきた人たちが、京都大学や西湖を訪れ、発見にご尽力いただいた中坊教授やさかなクン、西湖のある富士河口湖町の渡邊凱保町長や西湖漁業協同組合の三浦保明代表理事などにお会いし、感謝の気持ちを伝えるとともに、今後の里帰りプロジェクトへの協力をお願いしました。



クニマス発見の功労者さかなクンへ里帰りの協力をお願い